



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 大日精化工業株式会社  
 コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 推進機構担当 (氏名) 榊原 俊哉  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3662-7128

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	39,766	6.5	1,928	31.7	2,072	29.5	1,506	26.5
2019年3月期第1四半期	42,543	3.3	2,824	26.8	2,939	27.5	2,049	28.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,060百万円 (64.3%) 2019年3月期第1四半期 645百万円 (83.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	81.14	
2019年3月期第1四半期	110.37	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	190,085	96,318	49.6
2019年3月期	190,701	96,055	49.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 94,363百万円 2019年3月期 94,103百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		42.50		42.50	85.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		42.50		42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,000	2.1	4,400	12.7	4,700	12.8	3,300	5.7	177.75
通期	169,000	0.8	9,000	3.2	9,500	2.5	6,600	70.2	355.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	18,613,110 株	2019年3月期	18,613,110 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	47,273 株	2019年3月期	47,273 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	18,565,837 株	2019年3月期1Q	18,566,231 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の海外経済は、米国経済は堅調な雇用・所得環境が個人消費を下支えしました。中国経済は米国関税引き上げに伴い輸出が低水準に推移し、その他アジア新興国地域においても輸出中心に減速傾向となりました。日本経済は、輸出の改善が遅れる一方、雇用・所得環境は改善傾向が続きました。

このような経済環境のもとで、当第1四半期連結累計期間の売上高は、車両業界向けが国内外ともに低調に推移したことなどにより397億6千6百万円（前年同期比6.5%減）の減収となりました。営業利益は19億2千8百万円（同31.7%減）、経常利益は20億7千2百万円（同29.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億6百万円（同26.5%減）の減益となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

## （化成事業）

当事業は、塗料・印刷インキ、情報表示・記録用の無機・有機顔料及び加工顔料、繊維用着色剤の製造・販売を行っております。情報表示・記録用顔料は低調に推移しました。また、汎用顔料は好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は64億7千4百万円（同0.3%増）、営業利益は8億5千8百万円（同16.9%減）となりました。

## （化学品事業）

当事業は、マスターバッチ、樹脂コンパウンドなどのプラスチック用着色剤、紫外線・電子線硬化型コーティング剤の製造・販売を行っております。車両業界向けの着色剤は、国内・海外向けともに低調に推移しました。コーティング剤は主に情報・電子業界向けが低調に推移しました。海外連結子会社においては中国・東南アジアのコンパウンド事業の業績が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は212億8千6百万円（同10.2%減）、営業利益は12億8千5百万円（同24.0%減）となりました。

## （高分子事業）

当事業は、ウレタン樹脂、天然物由来高分子の製造・販売を行っております。産業資材業界向けの特種コーティング剤が在庫調整により低調に推移致しました。また、海外連結子会社においても中国・アメリカの事業拠点の業績が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は48億1千9百万円（同1.0%減）、営業利益は8億5千7百万円（同15.3%減）となりました。

## （印刷総合システム事業）

当事業は、印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキは国内の一般包材向けパッケージ関連が不振となりましたが、海外連結子会社においては、中国・インドネシアの拠点の業績が堅調に推移しました。一方、オフセットインキは需要減少が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は71億3百万円（同3.6%減）、営業利益は5億6千万円（同1.1%減）となりました。

## （その他事業）

当事業は、グループ各社等への不動産賃貸及び金融事業等を行っております。当セグメントの売上高は8千1百万円（同43.9%減）となり、営業損失は1億6百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,900億8千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億1千6百万円減少いたしました。これは、「現金及び預金」や「たな卸資産」が増加したことなどにより流動資産が16億6千7百万円増加した一方で、「土地」や「投資有価証券」が減少したことなどにより固定資産が22億8千3百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は937億6千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ8億7千9百万円減少いたしました。これは、借入金が増加したことなどによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は963億1千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億6千3百万円増加いたしました。これは、「その他有価証券評価差額金」が減少した一方で、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上により「利益剰余金」が増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月15日に公表した以下の数値より変更はありません。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期(累計)	84,000	4,400	4,700	3,300
通期	169,000	9,000	9,500	6,600

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,515	25,067
受取手形及び売掛金	53,308	52,158
たな卸資産	30,449	31,880
その他	2,360	2,220
貸倒引当金	△86	△112
流動資産合計	109,546	111,214
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,729	14,107
その他(純額)	29,920	30,523
有形固定資産合計	45,649	44,631
無形固定資産		
その他	3,024	2,914
無形固定資産合計	3,024	2,914
投資その他の資産		
投資有価証券	22,348	21,302
退職給付に係る資産	7,012	7,134
その他	3,166	2,936
貸倒引当金	△46	△48
投資その他の資産合計	32,479	31,325
固定資産合計	81,154	78,871
資産合計	190,701	190,085
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,716	28,895
短期借入金	15,184	15,735
1年内返済予定の長期借入金	10,063	9,059
未払法人税等	611	445
賞与引当金	2,293	3,458
関係会社整理損失引当金	4	8
環境対策引当金	80	55
その他	5,349	5,652
流動負債合計	63,302	63,310
固定負債		
長期借入金	16,817	15,923
関係会社整理損失引当金	708	637
環境対策引当金	3,058	3,057
退職給付に係る負債	8,936	9,031
その他	1,822	1,807
固定負債合計	31,343	30,456
負債合計	94,646	93,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,772	9,772
利益剰余金	68,578	69,295
自己株式	△108	△108
株主資本合計	88,282	88,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,355	7,648
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	△1,430	△1,235
退職給付に係る調整累計額	△1,101	△1,048
その他の包括利益累計額合計	5,821	5,363
非支配株主持分	1,951	1,954
純資産合計	96,055	96,318
負債純資産合計	190,701	190,085

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	42,543	39,766
売上原価	34,856	32,967
売上総利益	7,686	6,799
販売費及び一般管理費	4,862	4,871
営業利益	2,824	1,928
営業外収益		
受取利息	27	41
受取配当金	138	153
持分法による投資利益	36	45
その他	231	116
営業外収益合計	433	357
営業外費用		
支払利息	99	101
為替差損	21	36
その他	197	74
営業外費用合計	317	213
経常利益	2,939	2,072
特別利益		
関係会社整理損失引当金戻入額	—	64
受取保険金	—	61
その他	20	12
特別利益合計	20	138
特別損失		
固定資産除却損	11	27
その他	114	11
特別損失合計	126	39
税金等調整前四半期純利益	2,834	2,171
法人税、住民税及び事業税	1,093	164
法人税等調整額	△313	508
法人税等合計	779	673
四半期純利益	2,054	1,498
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,049	1,506



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,054	1,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△276	△707
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△1,013	254
退職給付に係る調整額	36	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△155	△39
その他の包括利益合計	△1,409	△437
四半期包括利益	645	1,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	720	1,049
非支配株主に係る四半期包括利益	△74	11

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	6,456	23,707	4,866	7,366	145	42,543	—	42,543
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	106	10	28	1	5,031	5,177	(5,177)	—
計	6,563	23,718	4,894	7,367	5,177	47,720	(5,177)	42,543
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	1,034	1,691	1,012	567	△83	4,221	(1,397)	2,824

(注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,397百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	6,474	21,286	4,819	7,103	81	39,766	—	39,766
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	103	15	133	—	4,744	4,997	(4,997)	—
計	6,577	21,302	4,953	7,103	4,826	44,763	(4,997)	39,766
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	858	1,285	857	560	△106	3,455	(1,526)	1,928

- (注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,526百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。